

第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館 企画概要
e n (縁) : beyond - SHARING

若年層を中心に失業が慢性化し、格差や貧困の度合いが日々昂進している今日の日本において、戦後の「高度経済成長」はもはや遠い過去の歴史的事象のようなものとなってしまった。近代日本の「経済成長」とともに創りだされた建築作品のいくつかは世界に誇れるものであったが、輝ける日本の「近代建築の変化100年」は、前回のヴェネチア・ビエンナーレ日本館において「現代建築の倉」に収蔵され、「高度経済成長」をピークに生み出された建築作品の数々はすでに歴史家の対象となっている。

情報環境を劇的に変化させたインターネットの普及など、時代の指標となる事象はさまざまにあるが、競争原理をその核にすえた新自由主義は、戦争やテロ、放射性物質による環境汚染などと異なり、すぐ目の前にある脅威とはとらえにくいものの、いまや社会の隅々にまで浸透してその屋台骨を深く蝕んでいる。とはいえ、「進歩」といった大きな物語、メタ物語が社会のエンジンとして駆動したモダンの時代、そして高度成長期とは異なり、こうした現状、動向に抗して目標となる未来の姿を描いてそこに向かっていくこともできず、われわれの社会には閉塞感のようなものが暗く、重く覆いかぶさっている。

そしてさらに3.11以降の喪失感が加わったなかで、日本の社会は大きな転換期を迎えており、近代国家の描いた「都市における幸せな家族像」が崩壊する一方で、「“SHARING”（価値観やライフスタイルなどを共有）する新たな共同体」が出現しはじめている。このような時代にわれわれの建築はどのようにつくられているのか。そして、どこへ向かおうとしているのか——われわれがいま注目するのは、その多くが、モダン・ムーヴメントのプロパガンダ装置であった建築雑誌などを華やかに飾るようにも、また、近代国家を形成してきたこれまでの建築の枠組みのなかでそれらを大きく変えるような力を秘めているようにも——少なくとも表面上においては——見えない建築群である。それは、今までの社会のあり方、それぞれのさまざまな関係性、すなわち本展のテーマである「縁」を変えることに重点を置いているからと考えられる。

本展では、大きな物語やなんらかの旗印のもと、モダン・ムーヴメントに見られたような運動体を形成するということなく、直面した状況課題に対して、それぞれ個々に戦われているその戦いの多様な様相を見てみようと思う。困難な状況を超えて生き延びる(survive)ためのこの最前線(front)での戦いは、まだ胎動を始めたばかりのものが多いかもしれないが、社会変革のベースをつくっていく、そんな潜在可能性をもっている。

2016年のヴェネチア建築ビエンナーレ日本館では、20世紀の経済成長モデルでは捉えられない、低成長時代を生き延びるための若い世代の建築実践を4つのテーマから紹介する。この建築実践は、モダニズム建築、ポストモダニズム建築に対すると同時に、日本社会のあり方に対するオルタナティブでもある。



テーマ1 「新しい家族のかたち」

核家族のための戸建住宅や単身者のためのワンルームマンションといった個を抛り所にした住まいに対し、現代日本における若年層の貧困化を背景にした都市住居の事例を紹介する。そこからはインターネット上のソーシャルネットによる繋がりや空き家の利用などを契機に、血縁や地縁ではなく、趣味趣向・ライフスタイルを共有する他者が集まり、地域に開いた都市居住の姿を読み取ることができる。紹介する事例は他者への配慮による小さな自治構築の試みを支える建築群である。



テーマ2, テーマ3 「減築・更新」

スクラップ・アンド・ビルドを前提とした戦後の日本社会を反映した建築のあり方に対し、持続可能な社会を意識した材料のリサイクルやリユースを前提とした事例を紹介する。建築部材などのモノに内在する時間性や歴史性を読み込み、既存建物を現代の生活様式に適合するように減築、更新をして建物の寿命を延ばす事例は、本来、木造建築を基本とする近代以前の日本においてはあたりまえのことであった。しかし、深刻化する資源の枯渇や地球環境に配慮した社会において、いまふたたび着目され始めている。紹介する事例はモノを通して、ふだんは意識されることの少ない、世界におけるさまざまな関係性に視線を注ぎ、さらにはまた、それらを浮上させることに美しさや歓びを表明する建築群である。



テーマ4 「創造的過疎」

近代以降に加速した都市部への人口集中と農村地域の過疎化および地域コミュニティの劣化に対し、豊かな自然環境のもとでユビキタスなインターネット環境と観光資源を融合させた新しい職住のあり方を示す事例を紹介する。これらは地場産の材料を用いて建設され、住民との持続的なワークショップにより、既存のコミュニティを活性化させている。紹介する事例は地域の生活、経済、資源、風景の相互連関の結節点となる建築群である。



これらの今日の日本社会とそれを反映した建築のイメージを、映像作家、菱川勢一氏の映像によって伝えるとともに、人の活動や家具・日用品、季節ごとの風景の映像を建築模型へ投射する。このプロジェクションマッピングにより、建築模型に周期的なリズムが表現されることで、出品された建築群の新しい試みをより生々しいかたちで感取することができるだろう。

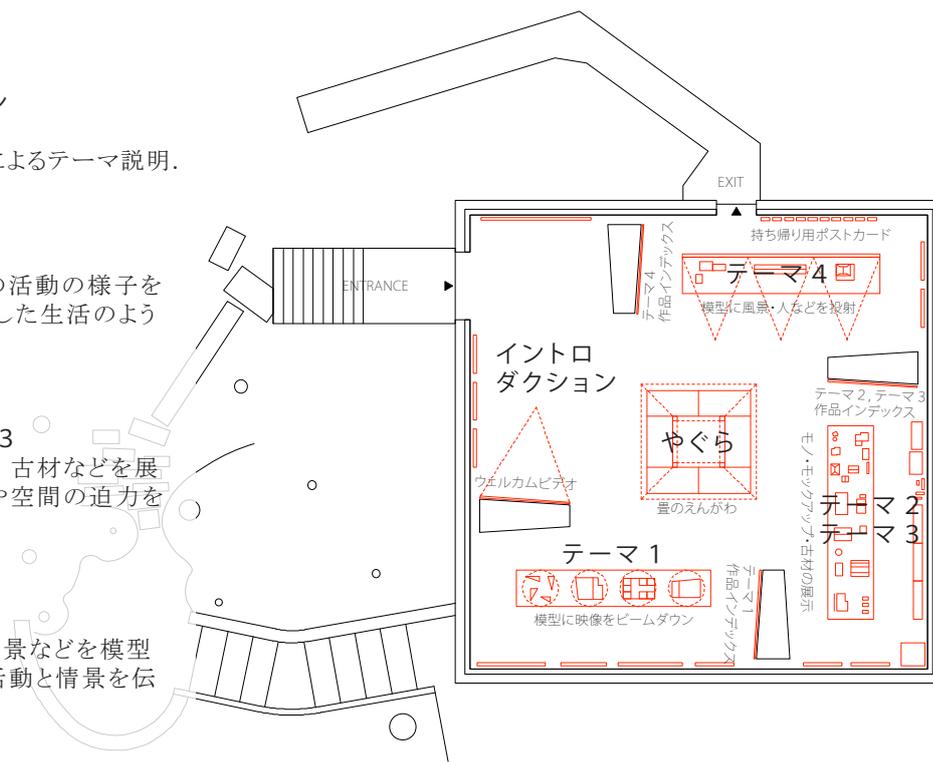
展示室

イントロダクション
ウェルカムビデオ +
他分野の思想家らによるテーマ説明。

↓
テーマ 1
上部より模型に人の活動の様子を
投射し、生き生きとした生活のよう
すを再現する。

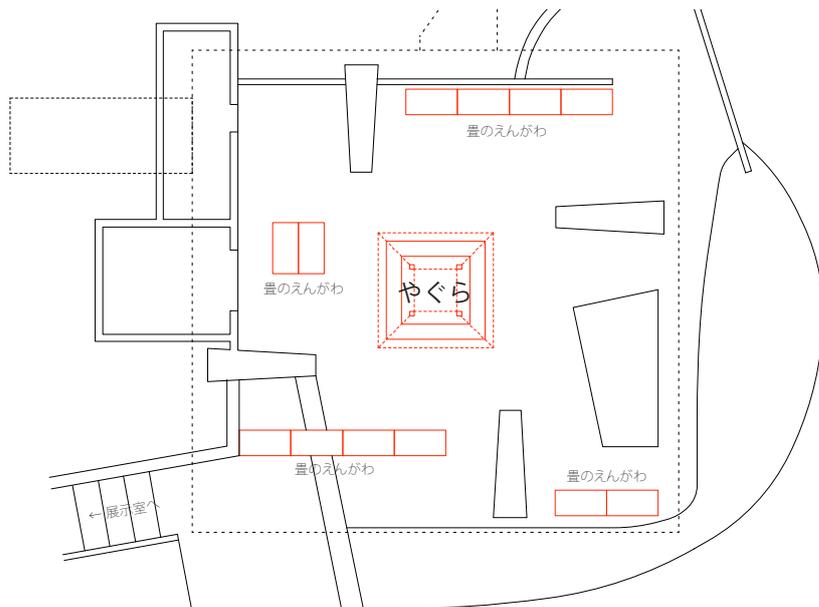
↓
テーマ 2, テーマ 3
モノやモックアップ、古材などを展
示し、実際の現場や空間の迫力を
伝える。

↓
テーマ 4
模型前面より人、風景などを模型
に投射し、地域の活動と情景を伝
える。



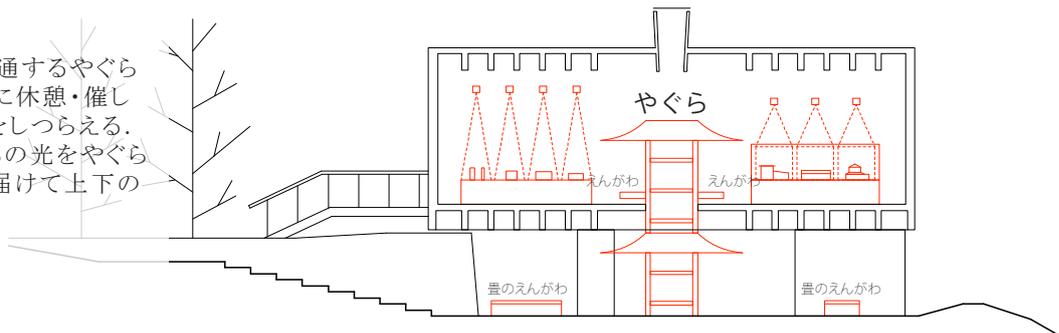
ピロティ

催し物スペース
やぐらを中心にたたみの縁側をしつ
らえ、徳島県産のお酒や高岡でつ
くられた錫の盃などを紹介する。



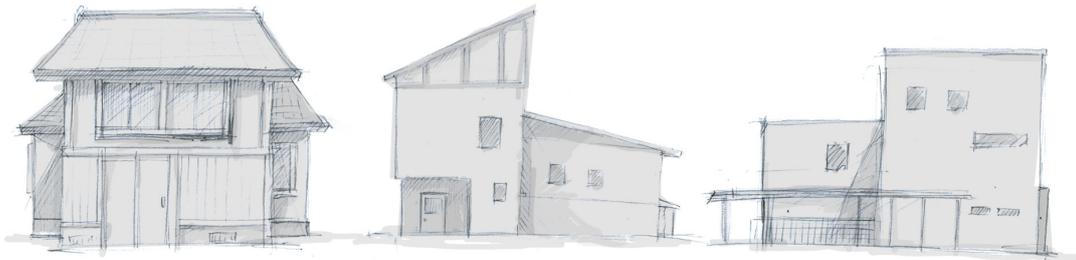
えんがわ

人と人をつなぐ
展示室とピロティを貫通するやぐら
を設置し、そのまわりに休憩・催し
物のためのえんがわをしつらえる。
中央のトップライトからの光をやぐら
を通してピロティまで届けて上下の
空間を関係づける。



プロジェクションマッピング

模型に映像を投射し、日本の四季や人の生活を表現する。

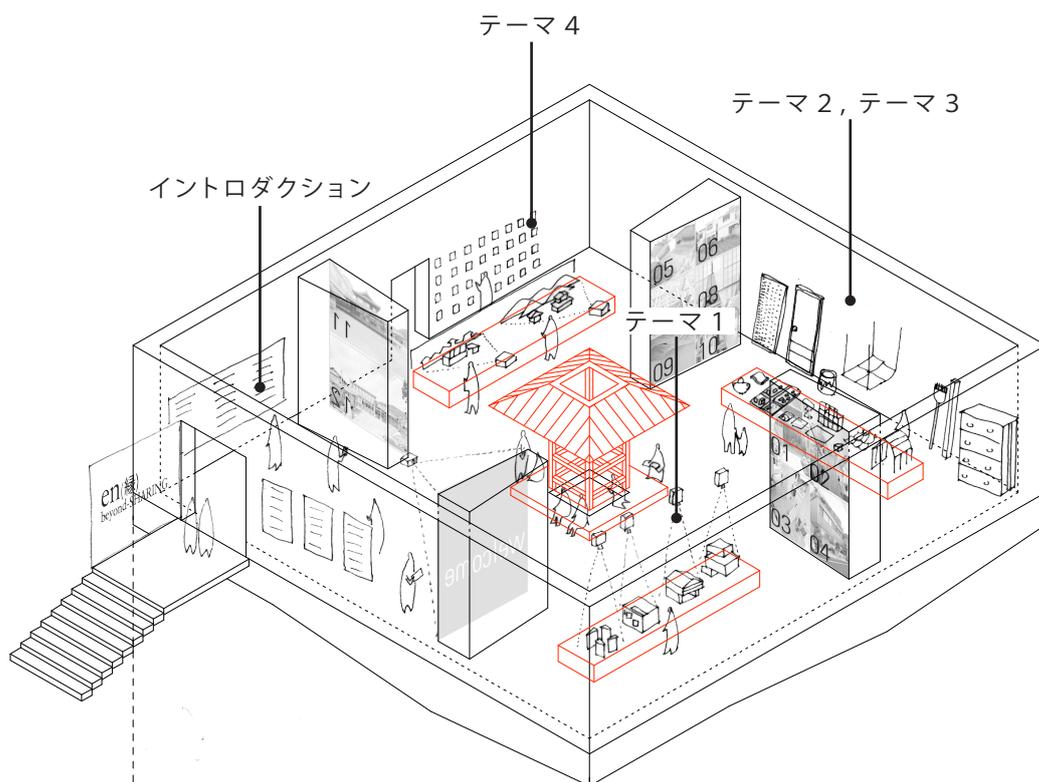


投射前

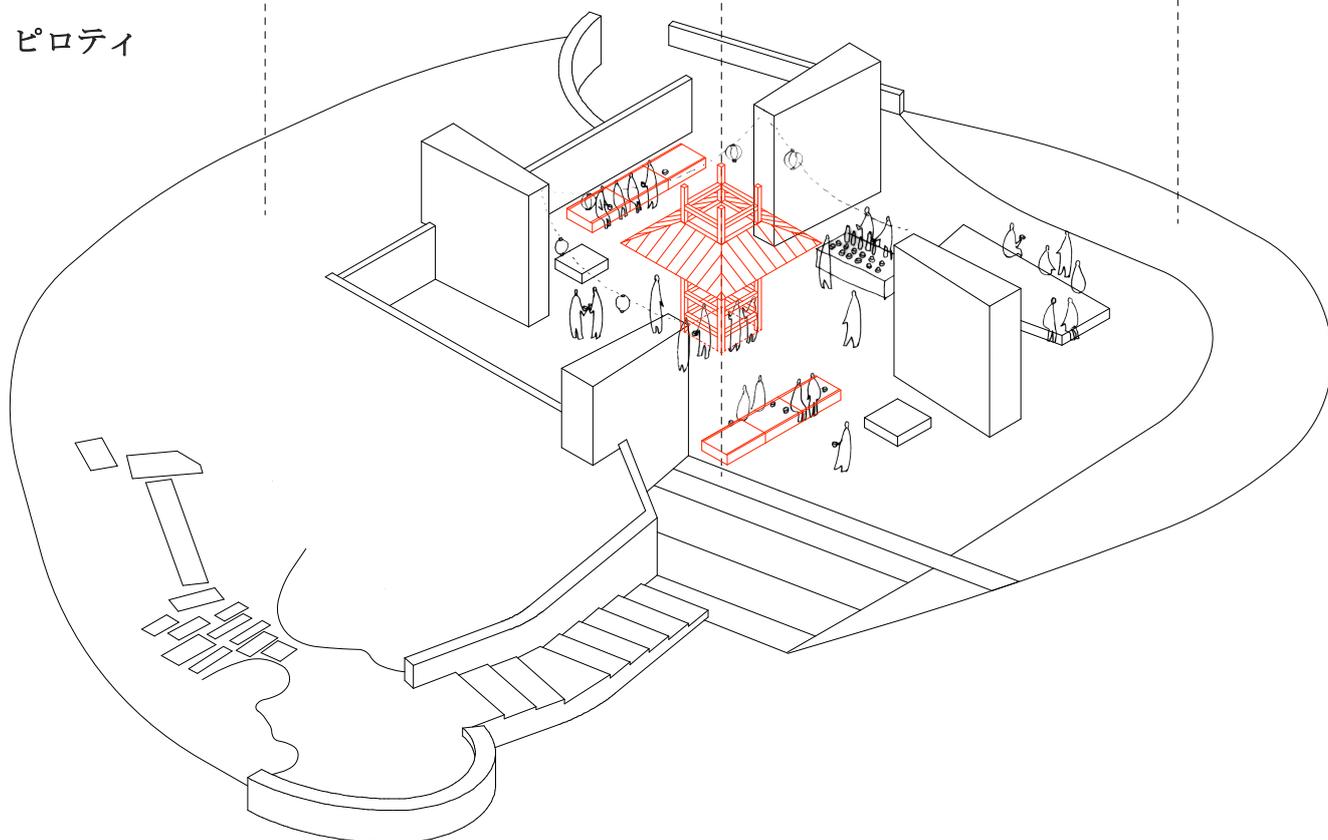


投射予想図

展示室



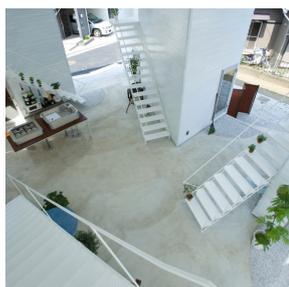
ピロティ



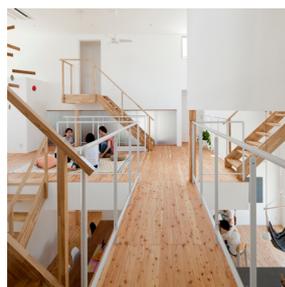
テーマ1



01
「不動前ハウス」
mnm 常山未央



02
「ヨコハマアパートメント」
オンデザイン



03
「LT城西」
成瀬・猪熊建築設計事務所



04
「食堂付きアパート」
仲建築設計スタジオ

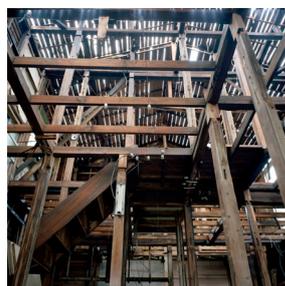
テーマ2



05
「高岡のゲストハウス」
能作アーキテクト



06
「駒沢公園の家」
今村水紀+篠原勲/miCo.



07
「15Aの家」
レビ設計室

テーマ3



08
「躯体の窓」
増田信吾+大坪克亘



09
「富塚の天井」
403architecture [dajiba]



10
「調布の家」
青木弘司建築設計事務所

テーマ4



11
「神山町プロジェクト」
BUS



12
「馬木キャンプ+美井戸神社」
ドットアーキテクト

キュレーター



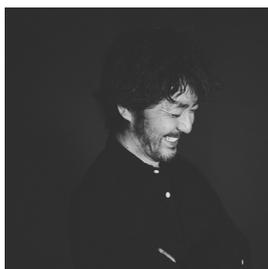
山名 善之 (Yoshiyuki Yamana)

東京理科大学理工学部建築学科教授
フランス政府公認建築家DPLG、博士(美術史)
専門: 建築意匠学・建築史学、アーカイブズ学

国立近現代建築資料館主任建築資料調査官(兼務)
国立西洋美術館客員研究員(兼務)
Docomomo International 理事
Docomomo Japan 副代表
ICOMOS Japan 理事

1966年東京都生まれ。
1990年東京理科大学工学部第一部建築学科卒業。香山アトリエ/環境造形研究所を経て、フランス政府給費留学生としてパリ・ベルヴィル建築学校DPLG課程留学。パリ大学Iパンテオン・ソルボンヌ校博士課程。アンリ・シリアニ・アトリエ(パリ・文化庁在外派遣芸術家研修員)、ナント建築大学契約講師、フランス国立公文書館、Institut français d'architecture等を経て、2002年より東京理科大学工学部第二部建築学科。2014年より同理工学部建築学科に勤務。

制作委員会



菱川 勢一 (Seiichi Hishikawa)

クリエイティブディレクター
映像作家/写真家
DRAWING AND MANUAL ファウンダー
武蔵野美術大学教授

1969年東京都生まれ。
レコード会社、家電メーカー宣伝部、海外音楽チャンネル番組制作、ハリウッド映画予告編制作など多岐にわたる経験を持ち、TVCMやミュージックビデオの映像監督、企業ブランディングやWebサイトのアートディレクター、ファッションやイベントなどの舞台監督を歴任した。ニューヨークADC賞、ロンドン国際広告賞など国際的な受賞多数。2011年に監督を務めたNTTドコモのCM「森の木琴」がカンヌライオンズにて三冠を受賞。



内野 正樹 (Masaki Uchino)

編集者

1960年静岡県生まれ。
雑誌「建築文化」で、ル・コルビュジエ、ミース・ファン・デル・ローエら巨匠の全冊特集を企画・編集するほか、映画や思想、美術等、他ジャンルと建築との接点を探る特集も手がける。同誌編集長を経て、「DETAIL JAPAN」を創刊。現在、ecrimageを主宰。著書＝「一流建築家のデザインとその現場」「表参道を歩いてわかる現代建築」(以上、共著)「パリ建築散歩」。

ほか二名

* 現在調整中

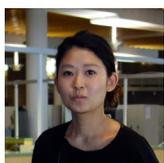
出展作家

**mnm 常山 未央 (Mio Tsuneyama)**

1983年神奈川県生まれ。2005年東京理科大学工学部第二部建築学科卒業。2005-2006年ブノート・ザパターアーキテクトゥ(スイス)。2006-2008年スイス連邦政府給付生。2008年スイス連邦工科大学ローザンヌ校建築学科修士課程修了。2008-2012年HHFアーキテクトゥ(スイス)。2012年mnm設立。2013-2015年東京理科大学工学部第二部建築学科補手。2014年-武蔵野美術大学造形学部建築学科非常勤講師。2015年-東京理科大学工学部第二部建築学科助教。

**オンデザイン 西田 司 (Osamu Nishida)**

1976年神奈川県生まれ。1999年横浜国立大学卒業。建築設計SPEED STUDIO設立主宰。2002-2007年東京都立大学大学院助手。2004年オンデザインパートナーズ設立代表。2005-2009年横浜国立大学(YGSA)助手。現在東京大学、東京理科大学非常勤講師。

**中川 エリカ (Erika Nakagawa)**

1983年東京都生まれ。2005年横浜国立大学工学部建設学科建築学コース卒業。2007年東京藝術大学大学院美術研究科修了。2007-2014年オンデザイン勤務。2014年-中川エリカ建築設計事務所設立。2014年-横浜国立大学大学院Y-GSA設計助手。

**成瀬・猪熊建築設計事務所 猪熊 純 (Jun Inokuma)**

1977年神奈川県生まれ。2004年東京大学大学院修士課程修了。2006年まで千葉学建築計画事務所勤務。2007年成瀬・猪熊建築設計事務所共同設立。2008年から首都大学東京助教。

**成瀬・猪熊建築設計事務所 成瀬 友梨 (Yuri Naruse)**

1979年愛知県生まれ。2007年東京大学大学院博士過程単位取得退学。2007年成瀬・猪熊建築設計事務所共同設立。2009年から東京大学特任助教。2010年から同助教

**仲建築設計スタジオ 仲 俊治 (Toshiharu Naka)**

1976年京都府生まれ。1999年東京大学工学部建築学科卒業。2001年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。2001-08年株式会社 山本理顕設計工場 勤務。2009年-株式会社 仲建築設計スタジオ設立。2009-11年横浜国立大学大学院Y-GSA設計助手。2011-14年東京都市大学、2013年-横浜国立大学非常勤講師。2014年-明治大学非常勤講師。

**仲建築設計スタジオ 宇野 悠里 (Yuri Uno)**

1976年東京都生まれ。1999年東京大学工学部建築学科卒業。2001年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。2001-13年株式会社 日本設計 勤務。2013年-株式会社 仲建築設計スタジオ

**能作アーキテクト 能作 文徳 (Fuminori Nousaku)**

1982年富山県生まれ。2005年東京工業大学建築学科卒業。2007年東京工業大学大学院建築学専攻修士課程修了。2008年Njiric+Arhitekti勤務。2010年東京工業大学補佐員。2010年-能作文徳建築設計事務所設立。2012年東京工業大学大学院建築学専攻博士課程修了。2012年-東京工業大学大学院建築学専攻助教。

**能作アーキテクト 能作 淳平 (Junpei Nousaku)**

1983年富山県生まれ。2006年武蔵工業大学卒業。2006-2010年長谷川豪建築設計事務所勤務。2010年能作淳平建築設計事務所設立。



miCo. 今村 水紀 (Mizuki Imamura)

1975年神奈川県生まれ。1999年明治大学理工学部建築学科卒業。2001-2008年妹島和世建築設計事務所。2008年miCo.設立。現在女子美術大学、日本工業大学、明治大学、東京理科大学、日本大学非常勤講師。



miCo. 篠原 勲 (Isao Shinohara)

1977年愛知県生まれ。2003年慶応大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。2003-2012年SANAA。2008年miCo.設立。現在女子美術大学非常勤講師。



レビ設計室 中川 純 (Jun Nakagawa)

1976年神奈川県生まれ。2003年早稲田大学理工学部建築学科卒業。2003-2006年難波和彦・界工作舎勤務。2006年レビ設計室設立。2013年早稲田大学理工学研究所研究員。2014年早稲田大学大学院田辺新一研究室在籍。



増田信吾+大坪克亘 増田 信吾 (Shingo Masuda)

1982年東京都生まれ。2007年武蔵野美術大学卒業。2008年増田信吾+大坪克亘 共同主宰。2010年-武蔵野美術大学非常勤講師。2015年-コーネル大学客員教授。



増田信吾+大坪克亘 大坪 克亘 (Katsuhisa Otsubo)

1983年埼玉県生まれ。2007年東京藝術大学卒業。2008年増田信吾+大坪克亘 共同主宰。



青木弘司建築設計事務所 青木 弘司 (Koji Aoki)

1976年北海道生まれ。2001年北海学園大学工学部建築学科卒業。2003年室蘭工業大学大学院修了。2003-2011年藤本壮介建築設計事務所。2011年青木弘司建築設計事務所設立。2012年武蔵野美術大学、2013年東京造形大学、2013-2015年東京理科大学、2015年東京大学非常勤講師。



403architecture [dajiba] 辻 琢磨 (Takuma Tsuji)

1986年静岡県生まれ。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2010 横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA修了。2010年Urban Nouveau*。2011年メディアプロジェクト・アンテナ企画運営。2011年403architecture [dajiba]設立。2013年横浜国立大学非常勤教員。2014年名城大学、2015年大阪市立大学非常勤講師。



403architecture [dajiba] 橋本 健史 (Takeshi Hashimoto)

1984年兵庫県生まれ。2005年国立明石工業高等専門学校建築学科卒業。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2010年横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA修了。2011年403architecture [dajiba]設立。2014年名城大学、2015年筑波大学非常勤講師。



403architecture [dajiba] 彌田 徹 (Toru Yada)

1985年大分県生まれ。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2011年筑波大学大学院芸術専攻貝島研究室修了。2011年403architecture [dajiba]設立。2014年名城大学、2015年筑波大学非常勤講師。



BUS 伊藤 暁 (Satoru Ito)

1976年東京都生まれ。2000年横浜国立大学工学部建設学科卒業。2002年横浜国立大学大学院工学研究科修士課程修了。2002-2006年aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所勤務。2007年伊藤暁建築設計事務所設立。



BUS 坂東 幸輔 (Kosuke Bando)

1979年徳島県生まれ。2002年東京藝術大学美術学部建築科卒業。2002-2004年スキーマ建築計画勤務。2008年ハーバード大学大学院デザインスクール修了。2009年ティーハウス建築設計事務所勤務。2010年坂東幸輔建築設計事務所設立。2010年BUS設立。2010-2013年東京藝術大学美術学部建築科教育研究助手。2013年aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所勤務。2015年-京都市立芸術大学講師。



BUS 須磨 一清 (Issei Suma)

1976年東京都生まれ。1999年慶應大学環境情報学部卒業。2002年コロンビア大学建築修士科卒業。2004-2007年ROCKWELL GROUP。2007-2010年VOORSANGER ARCHITECTS。2011年須磨設計設立。



ドットアーキテツ 家成 俊勝 (Toshikatsu Ienari)

1974年兵庫県生まれ。1998年関西大学法学部法律学科卒業。2000年大阪工業技術専門学校夜間部卒業。2004年ドットアーキテツ共同主宰。現在京都造形芸術大学特任准教授。大阪工業技術専門学校非常勤講師。



ドットアーキテツ 赤代 武志 (Takeshi Shakushiro)

1974年兵庫県生まれ。1997年神戸芸術工科大学芸術工学部環境デザイン学科卒業。北村 陸夫+ズーム計画工房、宮本佳明建築設計事務所を経て、2004年-ドットアーキテツ共同主宰。現在大阪工業技術専門学校特任教員。神戸芸術工科大学非常勤講師。



ドットアーキテツ 土井 亘 (Wataru Doi)

1987年神奈川県生まれ。2013年慶応義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了。studio mumbai architectsを経て、2014年ドットアーキテツに参画。

会場デザイン



t e c o 金野 千恵 (Chie Konno)

1981年神奈川県生まれ。2005年東京工業大学工学部建築学科卒業。同大学院在学中、スイス連邦工科大学奨学生。2011年東京工業大学院博士課程修了、博士(工学)取得。2011-12年神戸芸術工科大学大学院助手、KONNO設立。2013年より日本工業大学助教。2015年一級建築士事務所 t e c o 設立。



t e c o アリソン 理恵 (Rie Allison)

1982年宮崎県生まれ。2005年東京工業大学工学部建築学科卒業。2011年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2011-14年ルートエー勤務。2014-15アトリエ・アンド・アイ 坂本一成研究室勤務。2015年一級建築士事務所 t e c o 設立。